



## 2025年8月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2025年7月15日

上場会社名 プリモグローバルホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 367A URL <https://www.primoghd.co.jp/ja/index.html>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤野 直樹  
 問合せ先責任者(役職名) 管理管掌執行役員 (氏名) 佐田 大輔 (TEL) 03(6226)6261  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年8月期第3四半期の連結業績(2024年9月1日~2025年5月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第3四半期	20,477	11.3	2,454	34.7	2,160	48.0	1,642	57.4	1,642	57.4	1,755	△27.6
2024年8月期第3四半期	18,397	—	1,822	—	1,459	—	1,043	—	1,043	—	2,423	—

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2025年8月期第3四半期	187	80	—	—
2024年8月期第3四半期	119	31	—	—

(注) 希薄化後1株当たり四半期利益については、新株予約権は存在はするものの、権利確定が上場条件付となっているため希薄化効果の計算対象外ですので、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期第3四半期	45,363	17,472	17,472	38.5	1,997.49
2024年8月期	45,392	15,700	15,700	34.6	1,794.94

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年8月期第3四半期	2,843	△150	△2,979	2,919
2024年8月期第3四半期	3,038	△271	△2,354	3,094

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年8月期	—	0.00	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	—	—	105.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2025年7月15日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,766	7.5	2,720	21.1	2,295	33.9	1,649	43.4	1,649	43.4	188.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### ※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期3Q	8,747,143株	2024年8月期	8,747,143株
② 期末自己株式数	2025年8月期3Q	ー株	2024年8月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年8月期3Q	8,747,143株	2024年8月期3Q	8,747,143株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- （1）当社グループは、国際会計基準を適用しております。  
（2）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
（3）2025年7月15日に当社ウェブサイト(<https://www.primoghd.co.jp/ir/>)に決算説明資料を掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(6) 要約連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や雇用情勢に持ち直しの動きがみられるなど、全般的に緩やかな回復がみられました。一方、ウクライナ情勢によるエネルギー資源や原材料の価格高騰に加え、日米の金利差による円安の恒常化や通商政策の今後の動向等、世界情勢は依然として不透明な状況が続いております。当社グループが属するブライダルジュエリー市場においては、ジュエリーブランド各社のブライダル強化の動きもあり、企業間競争はなお一層の厳しさをみせておりますが、国内の経済活動には回復がみられ、インバウンドも前年を超えて増加しております。

このような日々変化する経営環境の中、当社グループでは「最高（プリモ）の夢（おもい）を最高（プリモ）の幸（かたち）に」の企業理念に基づき、2025年8月期から2027年8月期の3か年にわたる新中期経営計画を策定しました。

国内市場においては、メインブランドである「I-PRIMO」と、2023年に日本における商標権および関連する権利を取得した「LAZARE DIAMOND」のブランド価値および顧客体験の更なる向上に努めてまいります。まず、引き続き当社グループが有する不変的な価値をお客様に効果的に伝えるため、各種広告表現や広告媒体を選定し、ご来店前のお客様により良く当社ブランドをご理解いただくとともに、実際にご来店されたお客様には、ブランドの世界観を表現した店づくりと、人財教育にもとづく高い接客サービスを体感していただくことにより、更なるブランドイメージの向上に取り組んでおります。

商品面では、「I-PRIMO」の婚約指輪に使用するダイヤモンドについて、ダイヤモンド研磨工場との連携により、当社グループが求める高い品質基準をプロダクション工程から監修した「PRIMO QUALITY DIAMOND」や、独自の「着け心地メソッド」を採用した軽やかな着け心地の商品、独自組成の新素材である「パールブラウンゴールド」の商品等を展開し、多くのお客様にご支持いただいております。今後もオリジナリティのある付加価値商品の開発によって、他社との差別化に取り組むとともに、人生の重要な節目で選ばれるブランドとしてお客様に長く愛されるよう、アニバーサリージュエリー商品の充実やお客様とのコミュニケーション強化を進めてまいります。

店舗開発では、商圈やお客様の購買行動の変化に伴い、より集客力のあるエリアや有力商業施設内への移転、店舗設備の改装を進めており、2024年9月に「I-PRIMO 立川店」、2025年4月に「I-PRIMO 横浜ベイクォーター店」のリニューアルを行いました。

海外市場においては、日本で培ったブランド・商品・サービスを活かしつつ、①各市場における「I-PRIMO」ブランドの認知・価値の向上、②各市場のお客様のニーズに応じた商品ラインナップ・サービスの提供および販売・価格・マーケティング戦略の実行、③中国本土や東南アジアといった出店余地のある市場における出店の推進、④各市場ローカル人材のグローバル登用、といった取組を進めてまいります。これらを受け2024年9月には、シンガポール2号店となる「I-PRIMO Suntec City Store」をオープンいたしました。また国内市場と同様に店舗の移転・改装を進め、2025年1月に中国本土の「I-PRIMO Suzhou Center Mall Store（蘇州市）」のリニューアルを行いました。

当社グループにとって、国内外におけるブランド価値の認知と売上規模の拡大はグローバルでの更なる躍進のキーとなっており、継続的な店舗の出店・移転・改装を行ってまいります。また、海外市場においては、株式会社ケイ・ウノとの契約に基づき2019年より台湾で展開しているK.UNO事業や、株式会社スタージュエリーブティックとの契約に基づき2023年より中国本土・台湾で展開しているSTAR JEWELRY事業等によるマルチブランドでの展開や、既存のお客様へのCRMとしてアニバーサリージュエリーのご提案等、今後とも「日本基準の高い商品品質」はもちろん、「きめ細やかなサービス・おもてなし」を通じた「一生の記念となるお買い物」を、国内外のお客様に広く提供してまいります。

これにより、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上収益20,477百万円（前年同期比11.3%増）となりました。

利益面では、営業利益2,454百万円（前年同期比34.7%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益1,642百万円（前年同期比57.4%増）となりました。

また、当第3四半期連結累計期間末時点での店舗数は134店舗（期首時点は135店舗）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 国内事業

国内事業につきましては、ダイヤモンドや金・プラチナ等の原材料価格の急激な高騰の影響を受けるなか、適時商品価格の見直しを行ったほか、スタッフの接客スキル向上等への取り組みが奏功し、業績は力強く伸ばいたしました。

これらの結果、売上収益は12,874百万円（前年同期比14.6%増）、セグメント利益は1,914百万円（前年同期比32.0%増）となりました。

#### ② 海外事業

海外事業につきましては、中国本土における不動産市場の停滞等に伴う景気低迷により、お客様に買い控えの傾向が見られましたが、現地におけるマーケティング施策の精査と営業体制の強化により、業績に回復が見られました。

これらの結果、売上収益は7,609百万円（前年同期比6.2%増）、セグメント利益は539百万円（前年同期比45.4%増）となりました。海外事業比率は、売上収益において37.2%、セグメント利益において22.0%となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結累計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりです。

流動資産は11,833百万円となり前連結会計年度末に比べ426百万円増加致しました。これは主に、受注高の増加にともない営業債権及びその他の債権が516百万円、棚卸資産が234百万円増加した一方で、主に借入の返済により現金及び現金同等物が280百万円減少したことによるものであります。

非流動資産は33,529百万円となり前連結会計年度末に比べ454百万円減少致しました。これは主に、減価償却にともない使用権資産が168百万円減少、敷金保証金の返金によりその他の金融資産が227百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は45,363百万円となり前連結会計年度末に比べ28百万円減少致しました。

また、流動負債は9,475百万円となり前連結会計年度末に比べ37百万円増加致しました。これは主に、受注高の増加にともない契約負債が591百万円増加した一方で、営業債務及びその他の債務が107百万円、リース負債が96百万円減少、主に従業員への賞与支給によりその他の流動負債が212百万円減少したことによるものであります。

非流動負債は18,415百万円となり前連結会計年度末に比べ1,838百万円減少致しました。これは主に、返済により借入金が1,429百万円、リース負債が414百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債は合計27,891百万円となり前連結会計年度末に比べ1,800百万円減少致しました。

資本は合計17,472百万円となり前連結会計年度末に比べ1,771百万円増加致しました。これは主に、四半期利益1,642百万円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

### (3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ280百万円減少し、2,919百万円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は2,843百万円（前年同期は3,038百万円の獲得）となりました。

これは主に、税引前四半期利益が2,160百万円（前年同期は1,459百万円）、減価償却費及び償却費の計上が1,635百万円（前年同期は1,809百万円）あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は150百万円（前年同期は271百万円の使用）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出125百万円（前年同期は210百万円）、無形資産の取得による支出250百万円（前年同期は86百万円）、敷金及び保証金の差入による支出30百万円（前年同期は113百万円）、敷金及び保証金の回収による収入256百万円（前年同期は109百万円）あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は2,979百万円（前年同期は2,354百万円の使用）となりました。

これは主に、リファイナンスによる長期借入れによる収入が14,031百万円、リファイナンスによる長期借入金の返済による支出が14,031百万円、その他長期借入金の返済による支出が1,305百万円（前年同期は500百万円）、リース負債の返済による支出が1,674百万円（前年同期は1,854百万円）あったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。当社グループとしても、お客様及び従業員をはじめとするあらゆるステークホルダーの安全と健康を守り、事業運営を安定的に継続していくための対策を講じることが最重要課題のひとつと捉えております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,199	2,919
営業債権及びその他の債権	1,648	2,165
棚卸資産	6,479	6,714
その他の流動資産	79	34
流動資産合計	11,407	11,833
非流動資産		
有形固定資産	1,632	1,533
のれん	16,201	16,237
無形資産	9,935	9,914
使用権資産	3,685	3,517
持分法で会計処理されている投資	121	111
その他の金融資産	1,556	1,328
繰延税金資産	839	883
その他の非流動資産	13	3
非流動資産合計	33,984	33,529
資産合計	45,392	45,363

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,976	1,869
契約負債	2,877	3,468
借入金	1,000	993
未払法人所得税等	504	374
リース負債	1,783	1,687
その他の流動負債	1,295	1,082
流動負債合計	9,437	9,475
非流動負債		
借入金	14,336	12,906
リース負債	3,542	3,128
引当金	207	199
繰延税金負債	2,151	2,167
その他の非流動負債	15	13
非流動負債合計	20,253	18,415
負債合計	29,691	27,891
資本		
資本金	100	100
資本剰余金	8,647	6,860
利益剰余金	2,705	6,134
その他の資本の構成要素	4,248	4,377
親会社の所有者に帰属する持分合計	15,700	17,472
資本合計	15,700	17,472
負債及び資本合計	45,392	45,363

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年9月1日 至2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年9月1日 至2025年5月31日)
売上収益	18,397	20,477
売上原価	6,280	7,247
売上総利益	12,117	13,229
販売費及び一般管理費	10,438	10,842
その他の収益	243	147
その他の費用	100	80
営業利益	1,822	2,454
金融収益	15	87
金融費用	357	364
持分法による投資損失	21	16
税引前四半期利益	1,459	2,160
法人所得税費用	415	518
四半期利益	1,043	1,642
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,043	1,642
四半期利益	1,043	1,642
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	119.31	187.80

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年9月1日 至2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年9月1日 至2025年5月31日)
四半期利益	1,043	1,642
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,379	112
税引後その他の包括利益	1,379	112
四半期包括利益合計	2,423	1,755
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,423	1,755
当期包括利益	2,423	1,755

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自2023年9月1日 至2024年5月31日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				合計	資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構 成要素		
2023年9月1日残高	100	8,647	1,548	4,095	14,390	14,390
四半期利益			1,043		1,043	1,043
その他の包括利益				1,379	1,379	1,379
四半期包括利益	—	—	1,043	1,379	2,423	2,423
株式報酬取引				0	0	0
所有者との取引額等合計	—	—	—	0	0	0
2024年5月31日残高	100	8,647	2,592	5,475	16,815	16,815

当第3四半期連結累計期間(自2024年9月1日 至2025年5月31日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				合計	資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構 成要素		
2024年9月1日残高	100	8,647	2,705	4,248	15,700	15,700
四半期利益			1,642		1,642	1,642
その他の包括利益				112	112	112
四半期包括利益	—	—	1,642	112	1,755	1,755
欠損填補		△1,786	1,786		—	—
株式報酬取引				16	16	16
所有者との取引額等合計	—	△1,786	1,786	16	16	16
2025年5月31日残高	100	6,860	6,134	4,377	17,472	17,472

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年9月1日 至2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年9月1日 至2025年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,459	2,160
減価償却費及び償却費	1,809	1,635
有形固定資産売却益	△28	—
減損損失	31	1
受取利息	△5	△4
支払利息	354	348
持分法による投資損益(△は益)	21	16
棚卸資産の増減額(△は増加)	△537	△187
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△190	△378
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	418	85
契約負債の増減額(△は減少)	253	579
その他	51	△377
小計	3,636	3,881
利息の受取額	5	4
利息の支払額	△347	△338
シンジケートローン手数料の支払額	—	△52
法人所得税の支払額	△256	△681
法人所得税の還付額	0	31
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,038	2,843
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△210	△125
無形資産の取得による支出	△86	△250
有形固定資産の売却による収入	29	—
敷金及び保証金の差入による支出	△113	△30
敷金及び保証金の回収による収入	109	256
投資活動によるキャッシュ・フロー	△271	△150
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	14,031
長期借入金の返済による支出	△500	△15,336
リース負債の返済による支出	△1,854	△1,674
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,354	△2,979
現金及び現金同等物に係る換算差額	73	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	485	△280
現金及び現金同等物の期首残高	2,609	3,199
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,094	2,919

(6) 要約連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社の事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分を決定し、また業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

なお、報告セグメントの決定に際して集約された事業セグメントはありません。

当社グループは、主にジュエリーを販売しており、国内と海外の各市場の特性に応じた包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループの事業は、地域別に構成されており、「国内事業」と「海外事業」を報告セグメントとしております。

「国内事業」は、プリモ・ジャパン株式会社が国内において事業を営んでおり、「海外事業」は、海外子会社4社が中華圏（中国、台湾、香港）及びシンガポールにおいて事業を営んでおります。

(2) 報告セグメントに関する情報

報告セグメントの会計方針は、当社グループの会計方針と同一であります。

また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。なお、セグメント間の内部取引における価額は、独立企業間価格に基づいております。

報告セグメントの売上収益及び利益に関する情報は、以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2023年9月1日 至 2024年5月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	要約四半期連結 財務諸表計上額
	国内	海外	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	11,228	7,168	18,397	—	18,397
セグメント間の売上収益	0	—	0	△0	—
合計	11,229	7,168	18,397	△0	18,397
減価償却費及び償却費(注2)	△272	△221	△493	—	△493
減損損失	—	△31	△31	—	△31
資産除去費用	△6	△0	△6	—	△6
セグメント利益(営業利益)	1,451	371	1,822	0	1,822
金融収益	—	—	—	—	15
金融費用	—	—	—	—	△357
持分法による投資損失(△)	—	—	—	—	△21
税引前四半期利益	—	—	—	—	1,459

(注) 1. セグメント間の売上収益及びセグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及び未実現利益の控除によるものです。

2. 減価償却費及び償却費は、使用権資産に係る減価償却費(1,316百万円、うち国内事業：488百万円、海外事業：827百万円)を控除して表示しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年9月1日 至 2025年5月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注1)	要約四半期連結 財務諸表計上額
	国内	海外	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	12,867	7,609	20,477	—	20,477
セグメント間の売上収益	6	—	6	△6	—
合計	12,874	7,609	20,483	△6	20,477
減価償却費及び償却費（注2）	△219	△186	△405	—	△405
減損損失	—	△1	△1	—	△1
資産除去費用	△10	△0	△10	—	△10
セグメント利益（営業利益）	1,914	539	2,454	△0	2,454
金融収益	—	—	—	—	87
金融費用	—	—	—	—	△364
持分法による投資損失（△）	—	—	—	—	△16
税引前四半期利益	—	—	—	—	2,160

（注） 1. セグメント間の売上収益及びセグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及び未実現利益の控除によるものです。

2. 減価償却費及び償却費は、使用権資産に係る減価償却費（1,230百万円、うち国内事業：566百万円、海外事業：664百万円）を控除して表示しております。

(1株当たり情報)

基本的1株当たり四半期利益及びその算定上の基礎は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年9月1日 至2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年9月1日 至2025年5月31日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益		
親会社の所有者に帰属する四半期利益	1,043	1,642
親会社の普通株主に帰属しない金額	—	—
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益	1,043	1,642
発行済普通株式の期中平均株式数	8,747,143株	8,747,143株
基本的1株当たり四半期利益	119.31円	187.80円

(注) 希薄化後1株当たり四半期利益については、新株予約権は存在するものの、権利確定が上場条件付きとなっているため希薄化効果の計算対象外ですので、記載しておりません。